

令和6年度兵庫県立小野高等学校入学式【式辞】(R6.4.8)

桜をはじめとする色とりどりの花が咲き誇り、やわらかな春の日差しが学び舎に降り注ぐこのよき日に、ご来賓として衆議院議員 藤井 比早之様、兵庫県議会議員で蜻蛉会副会長の小林 昌彦様、PTA会長 魚住 美穂様、本校同窓会 蜻蛉会会長 長谷川 雅清様をはじめとする学校関係者の皆様にご臨席を賜り、兵庫県立小野高等学校第七十九回入学式が、盛大に挙行できますことに、深く感謝を申し上げます。

ただいま入学を許可しました、二百七十五名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員はもとより、在校生も皆さんの入学を心から嬉しく思っています。合わせて、皆さんには、今日の入学まで支えてくれたご家族、お世話になった中学校の先生など、多くの方々に対する感謝の気持ちを忘れないで欲しいと思います。

さて、本校は、江戸時代の小野藩の藩校であった「帰正館」を源流として、旧制小野中学校がこの地に設置され、百二十二年の歴史と伝統を持った学校です。

校是は「明・浄・直」(明き・浄き・直き 誠の心)であり、多くの知識や技能を身につけて何事にも明るくなり、邪で恥ずかしい心を捨てて、他人の気持ちを考えた思いやりのある行動をして、素直な気持ちを持ち続けてください。この精神で、文武両道を貫き、通常の授業に加えて、探究活動、学校行事、部活動に取り組んで、学校スローガンである「世界で突き抜ける「小野高プライド」～次代を拓く人間力を育む～」ことを目指してください。

そして、皆さんに身につけて欲しい9つの力を「次代を拓く ‘ONO Progress’」として定めています。入学のしおりや合格者説明会で、この9つの力の意味を調べておくように伝えましたので、すでに理解できていることかとは思いますが、「自分を拓く」ために必要な探究心、レジリエンス、課題解決能力、「世界を拓く」ために必要な俯瞰力、突破力、発信力、そして「笑顔が拓く」ための多様性、共創力、批判的思考力の9つです。どれも、これからの予測困難な時代を生き抜くためになくしてはならない力です。

皆さんは、多くの中学校から小野高校に入学するというご縁で集まりました。共に創り出す力と書く共創力は、「様々な背景を持つメンバーが協力し新しい価値創造や課題解決を図ること」という意味で、皆さんが、共に協力して新しい価値を作り出したり、課題を解決していく力で、決して一人で身につけることはできません。

本校は、普通科に加えて、理数の専門性の高い教育課程の科学探究科と、地域における持続可能な社会を視野に入れた学びのビジネス探究科の2つの専門学科を持っており、3つの科が連携し本校でしかできない取り組みを行っていきます。自分の学科だけでなく、様々な刺激を受けて切磋琢磨して欲しいと願っています。

さて、「蒔けば生え 蒔かねば生えぬ 善し悪しの 人は知らねど種は正直」ということばがあります。

種をまかないと芽は出ませんが、種をまいて水やりをしたり肥料をやったりと世話をすれば芽が出て花が咲いて実がなります。ここで言う種まきとは行為のことですが、良い種か悪い種かは知らなくても、出てきた芽や花、実を見ればどんな種をまいたかがわかります。

大事なものは目的ですが、すべては目的に向かっての種まき（行動）です。まかない種は生えないので、思えばまず行動にうつして種まきをしてください。まいても、なかなか実を結ばなくて嫌になることがあるかもしれません。しかし、それは、貯金していると思って頑張っただけで欲しいと思います。いつか、多額の利子がついた結果が返ってきます。

また、「あれを見よ、深山の桜咲きにけり 真心つくせ 人知らずとも」ということばがあります。

みやまとは深い山と書きますので、普段は人が来ない山奥で素晴らしい桜の花がさいている様子を見て、あれを見よ、こんな山奥でも素晴らしい桜の花が咲いているぞ。という状況です。桜は人に見てもらおうと思って咲いているのではありません。人に知られなくとも見てもらわなくとも、真心すなわち誠意を尽くしていれば、必ず桜の花のような素晴らしい結果がかえってくる。という意味です。

中学校とは違って、勉強も難しくなり授業の進度も速くなります。宿題も多くて、つい入学した目標も見失うこともあるかもしれません。しかし、しんどい時が踏ん張り時です。できるか、できないかということよりも、昨日より今日、今日より明日、少しでも向上しようという心が大切です。怠け心が出てきても常に種まきを忘れず、人が見ていようが関係なく誠意を尽くして、充実した高校生活を送ってください。1日1日の積み重ねで、3年後に、素晴らしい花が咲くかどうかが決まりますので、頑張ってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様がこれからどのように成長していくのか、大きな期待と一抹の不安の両方を抱いておられることかと思えます。

保護者の皆様と連携して、教職員が一丸となって、お子様の成長を支えてまいります。これからの3年間、本校に対するご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

新入生の皆さん一人一人が、自らの目標を大切に、何より楽しい充実した高校生活を送られることを祈念して、式辞といたします。

令和六年四月八日

兵庫県立小野高等学校長 小倉 裕史